

民事執行法の改正により入札時に
次の書面の提出が必要になりました。



暴力団員等に
該当しない旨の

陳述書

入札する日において発行後3か月以内の

住民票 資格証明書

(個人の場合)

(法人の場合)

宅地建物取引業の免許証のコピー

(宅地建物取引業者の場合)

※入札時に、入札書ごとに陳述書、住民票・資格証明書を提出しないと入札が無効になります。

※住民票・資格証明書は、入札する日において発行後3か月を超えるものを提出した場合、入札が無効となります。

※記載に不備があった場合、入札が無効になることがあります。

【入札方法に関する問合せ】

東京地方裁判所民事第21部（民事執行センター）執行官室不動産部

☎03-5721-6395

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 6月 3日

東京地方裁判所民事第21部

裁判所書記官 相 田 亜由子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 6月18日 午前 9時00分から 令和 8年 6月25日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 7月 1日 午前 9時30分 場 所 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 7月 9日 午前11時00分 場 所 東京地方裁判所民事第21部
特別売却 実施期間	令和 8年 7月 2日 午前 9時20分から 令和 8年 7月 6日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 6月 3日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件目録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 豊島区千早一丁目17番地1

建物の名称 椎名町パーク・ホームズ

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 千早一丁目17番1の402

建物の名称 402

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 52.55平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 豊島区千早一丁目17番1

地 目 宅地

地 積 921.73平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 146508分の5639



物件明細書

令和 8年 5月 1日

東京地方裁判所民事第21部

裁判所書記官 相田 亜由子

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

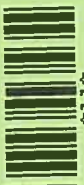
5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。ただし、本件請求債権はその一部である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムのお知らせメニューにも掲載されています。



物件目録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 豊島区千早一丁目17番地1

建物の名称 椎名町パーク・ホームズ

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 千早一丁目17番1の402

建物の名称 402

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 52.55平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 豊島区千早一丁目17番1

地 目 宅地

地 積 921.73平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 146508分の5639



令和7年(ケ)第602号
令和8年3月25日受理
令和8年4月22日提出
(評価人 有沢 範芳)

現況調査報告書

東京地方裁判所
執行官 白石 圭

物件目録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 豊島区千早一丁目17番地1

建物の名称 椎名町パーク・ホームズ

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 千早一丁目17番1の402

建物の名称 402

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 52.55平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 豊島区千早一丁目17番1

地 目 宅地

地 積 921.73平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 146508分の5639



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	東京都豊島区千早一丁目15番8号 椎名町パークホームズ402号	
建物	物件1	
種類、構造及び床面積の概略	<input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点異なる (<input type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input type="checkbox"/> 床面積:	
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある { 種類: 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を居宅として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	管理費等の月額は次のとおり 管理費 17,880円 修繕積立金 21,200円 (なお、令和8年3月分より、管理費が14660円から上記金額に改訂された。)	令和8年2月27日現在 <input type="checkbox"/> 滞納はない <input checked="" type="checkbox"/> 滞納がある 令和5年10月分～令和8年3月分計1,079,020円 <input type="checkbox"/> 不明
管理費等照会先	三井不動産レジデンシャルサービス株式会社	
その他の事項	上記滞納金のほか、違約金(弁護士費用)341,460円及び遅延損害金234,329円(金利年18パーセント)がある。	
敷地権	符号1	
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(符号1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(符号) <input type="checkbox"/> (符号)	
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>	
敷地権の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 所有権(符号1) <input type="checkbox"/> 地上権(符号) <input type="checkbox"/> 賃借権(符号) <input type="checkbox"/> (符号)	
その他の事項		
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある { 地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
敷地権以外の土地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■A (所有者)	1. 私は本件建物の所有者で、ここには私1人で住んでいます。 2. 本件建物の不具合は、特にありません。 3. ペットは飼っていません。 <p style="text-align: right;">(令和8年4月16日面接聴取) 以上</p>

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

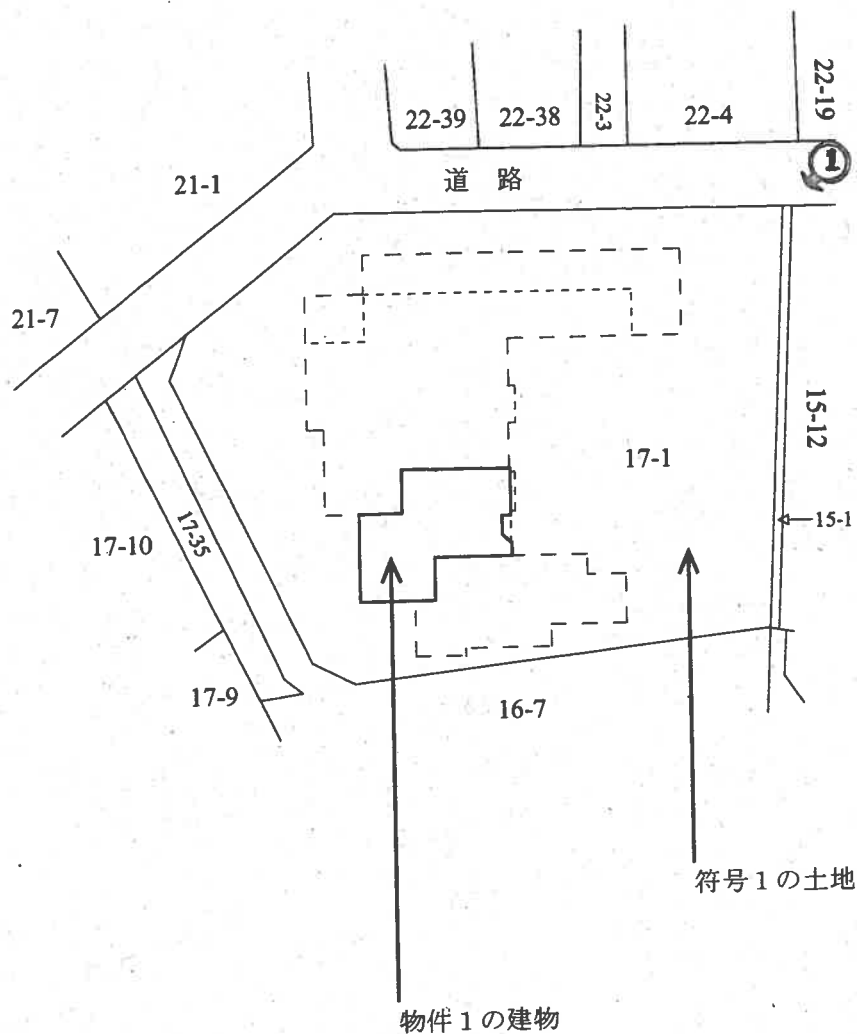
執行官の意見

1. 本件対象物件の状況は、土地・建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
2. 本件建物の占有状況等は、次のとおりであった。
 - ① 集合郵便受け及び玄関表札には建物所有者の氏が表示されており、同郵便受け内には同所有者宛の郵便物が複数存在していた。
 - ② 初回臨場時は不在であったが、立入調査時には所有者が在室していて、建物所有者から関係人の陳述等欄記載の要旨を聴取した。
 - ③ 本件建物内には、家具・寝具・日常生活用品等があり、一部の部屋は段ボール等に入った動産類で埋め尽くされていたため十分な確認ができなかったが、個人の居宅として使用されていた。
3. 本件建物の占有関係については、上記の現場の状況、提出された回答書及び関係人の陳述等から、本報告書2枚目に記載のとおり、所有者が居宅として占有しているものと認定した。

以上

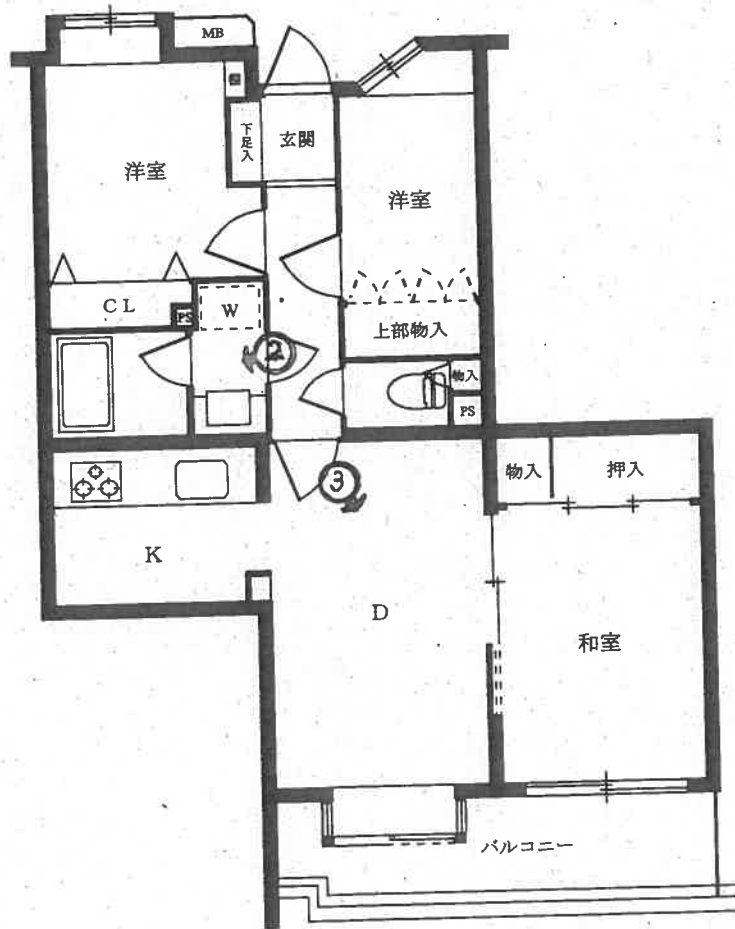
調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年4月3日	当庁	■管理費等に関する調査 (FAX)
令和8年4月7日 9:30-9:42	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 □図面作成 □評価人同行 □居住者から聴取 ■占有者に対する臨場日時通知書・照会書投函
令和8年4月16日 9:45-10:00	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 (立入調査) ■占有調査 ■写真撮影 ■図面作成 ■評価人同行 ■所有者から聴取
<p>(特記事項)</p> <p>■ 令和8年4月16日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行させて臨場した。</p> <p>□ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。</p> <p>□ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。</p> <p>(写真3葉添付)</p>		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)



←○: 写真撮影位置と方向

402



←○: 写真撮影位置と方向

1



2



3



意見書

令和8年4月28日

東京地方裁判所 御中

評価人 有沢 範 芳

先に提出しました令和7年(ケ)第602号に関する評価書について、下記のとおりご報告いたします。

記

<評価額の判定> (評価書10ページ・2・エを変更)

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額並びにその他の控除(敷金等)を考慮して評価額を決定した。

調整後の価格 (円)	市場性 修正	競売市場 修正	滞納管理費等 相当額の減価	その他の控 除(敷金等) (円)	評 価 額 (円)
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
37,900,000	×1.00	×0.80	×0.99		=30,020,000

ア 調整後の価格：積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正：必要なし。

ウ 競売市場修正：「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮して修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価：管理費等の滞納額とその未払遅延損害金があるが、これは本件請求債権であり、評価額及び担保設定状況等を勘案して、本件において配当が見込まれる分につき、これを控除しないこととした。ただし、その余の滞納額及び代金納付に至る間の管理費等の予想滞納相当額を考慮して修正を行った。

オ その他の控除(敷金等)：必要なし。

カ 評価額：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

以上

令和7年(ケ)第602号

令和8年4月16日 現地調査

令和8年4月21日 評価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 有 沢 範 芳

第1 評価額

物件番号	評価額
物件1	金 28,500,000 円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	次頁物件目録記載のとおり		<p>(住居表示) 豊島区千早1-15-8</p> <p>(マンション名、部屋番号) 椎名町パーク・ホームズ 402号室</p>
番号	特記事項		
	特になし		

※現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 豊島区千早一丁目17番地1

建物の名称 椎名町パーク・ホームズ

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 千早一丁目17番1の402

建物の名称 402

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 4階部分 52.55平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 豊島区千早一丁目17番1

地 目 宅地

地 積 921.73平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 146508分の5639

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等

位置・交通	東京メトロ有楽町線「要町」駅の南方約450m(道路距離、徒歩約6分)、豊島区千早1丁目15番街区に位置している。(附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	戸建住宅、マンションが多く見られる住宅地域。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第一種中高層住居専用地域 60% 200% 準防火地域 第二種高度地区
画地条件	地積 形状 間口・奥行 地勢	921.73㎡ ほぼ整形 間口約39m・奥行約27m～約30m 平坦
接面道路の状況等	北西側乃至西側が幅員約4.3mの区道とほぼ等高に接面している。 (注) 接面道路は建築基準法第42条1項1号に該当する。	
土地の利用状況等	物件1を含む後記一棟の建物の敷地として利用されている。建物の配置は、附属資料「建物図面・各階平面図写」のとおり。	
供給処理施設 (基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている)	上水道 都市ガス 下水道	あり あり あり
敷地権の表示	敷地権の種類 敷地権の割合	所有権 146,508分の5,639
特記事項	※ 対象地の北東側に私道(建築基準法第42条1項5号)が存するが、対象地は当該道路に接道していない。 ※ 豊島区の「洪水・内水ハザードマップ」によると浸水が想定されている区域に所在している。	

2. 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	椎名町パーク・ホームズ	
建物の用途	共同住宅（総戸数：25戸）	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載） 経過年数 経済的残存耐用年数	昭和60年8月8日新築 約41年 約9年
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1,573.49㎡	
仕様	外壁 その他	吹付タイル等 なし
設備等	エレベーター、オートロックシステム、宅配ロッカー、駐輪場等	
建物の品等	普通	
管理の形態等	管理組合 管理会社 管理形態	あり 三井不動産レジデンシャルサービス㈱ 委託
管理の状況	普通	
特記事項	なし	

(2) 専有部分の概要

構造・種類	鉄筋コンクリート造1階建・居宅	
位置	4階部分(402号室)・中間住戸 主要開口部の方位：南西向き	
床面積	専有面積	52.55㎡
	共用部分を含む現況床面積	61.29㎡
間取り	3DK	
バルコニー等	南西側にバルコニーあり	
仕様	天井	ビニールクロス、プリント合板等
	床	カーペット、畳等
仕様	内壁	ビニールクロス等
	設備	システムキッチン、ユニットバス等
仕様	その他	特になし
維持管理の状態	大きく劣る	
管理費等	管理費	17,880円/月
	修繕積立金	21,200円/月
管理費等	滞納額	1,079,020円
	遅延損害金	234,329円(年利18%) ※上記の他に弁護士費用(341,460円)が請求される。 令和8年2月27日現在
専有部分の利用状況等	自用	
特記事項	廊下等には荷物が山積されており移動に困難を感じた。また玄関側の洋室(2室)は荷物が山積されているため、入室ができなかった。さらにキッチン、浴室等の水廻りについても維持管理が劣っていることなどを考慮すると、総合的なリフォームが必要と判断される。	

第5 評価額算出の過程

評価対象不動産は、区分所有建物（マンション）である。本件は都市型の区分所有建物であり、買受人が投資用不動産として保有することも社会的・経済的観点から合理的と判断されるので、積算価格と収益価格を求めて、これらを調整して得た価格に基づき、競売市場を前提とした評価額を下記のとおり決定した。

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて下記のとおり建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡) ア	現況床面積(㎡) イ	現 価 率 ウ	建 物 価 格(円) エ
395,000	× 61.29	× 0.14	= 3,390,000

ア 再調達原価：一棟の建物の平均単価

イ 現況床面積：固定資産関係証明書記載の現況床面積（共用部分を含む）を採用。

ウ 現価率

- ・ 経過年数 約41年、 経済的残存耐用年数 約9年、 観察減価率 20%（建物の状況等を考慮）
- ・ 耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用し、 現価率を下記のとおり査定した。

現価率：経済的残存耐用年数 ÷ (経過年数 + 経済的残存耐用年数) × (1 - 観察減価率)

現価率 = 9年 ÷ (41年 + 9年) × (1 - 0.20) = 0.14 (小数第3位を四捨五入)

エ 建物価格：1万円未満四捨五入の端数処理を行った。

② 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

更地価格		地積 (㎡)	建付減価	敷地権の割合	敷地権価格 (円)
標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ				
769,000	× 1.00	×921.73	×1.00	×5,639 / 146,508	= 27,280,000

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。
なお標準画地は、近隣地域において、土地の概況（間口・奥行、規模等）等が標準的な中間画地を想定した。

公示地 「 豊島-20 」

$$\begin{array}{cccccc}
 \text{(公示価格等)} & \text{(時点修正)} & \text{(標準化補正)} & \text{(地域格差)} & \text{(規準価格)} & \\
 776,000 \text{ 円/㎡} \times & 104 / 100 \times & 100 / 100 \times & 100 / 105 & = & 769,000 \text{ 円/㎡} \\
 & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：ほぼ標準的な画地であり補正なし。

地域格差：公示地等の所在地域は対象地域と比較して、交通接近条件及び環境条件で優っていることを考慮して査定した。

イ 個別格差：格差なしと査定した。

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：必要なし。

オ 敷地権の割合：登記記載による敷地権の割合による。

カ 敷地権価格：1万円未満四捨五入の端数処理を行った。

2 積算価格（敷地権付建物の価格）

建物価格 (円)	敷地権価格 (円)	価格 補正	個別 格差	占有減価 修正	積算価格 (円)
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(3,390,000	+ 27,280,000)	×1.25	×1.01	×1.00	= 38,720,000

ア 建物価格：前記1①エ

イ 敷地権価格：前記1②カ

ウ 価格補正：同一マンション及び周辺の類似マンションの取引水準を考慮して判定した。

エ 個別格差：階層別補正 … 1.01 （基準階=3階、対象=4階）

位置別等修正 … 1.00 （格差なし）

その他 … 1.00

$$\text{相乗積 } 1.01 \times 1.00 \times 1.00 = 1.01 \quad \text{(小数第3位を四捨五入)}$$

オ 占有減価修正：必要なし。

カ 積算価格：1万円未満四捨五入の端数処理を行った。

II 収益価格の試算

目的物件は、賃貸に供されてはいないが、その潜在的な収益力を把握するために、賃貸借を想定することにより、収益還元法を適用する。

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される有効純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow 法）による収益価格を以下のとおり求めた。

但し、当該物件に関する収集可能な資料には限界があり、さらに競売による売却後の現実の賃貸借は、特定の当事者間の契約行為によるものであるもので、必ずしも想定の賃貸条件に符合する内容が実現するものではない。

《DCF法による価格査定表》

3年間の有効純収益現価の合計	正味復帰価格の現価					収益価格
	4年目の有効純収益	最終還元利回り	3年目期末復帰価格※1 イ÷ウ×(1-0.03)	複利現価率 ※2	正味復帰価格現価	
ア	イ	ウ	エ	オ	エ×オ=カ	ア+カ=キ
円 274,057 (1.2 %)	円 1,406,240	% 5.1	円 26,746,133	0.8663	円 23,170,175 (98.8 %)	円 23,440,000 (100 %)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格(イ÷ウ)の3%と査定した。

※2 複利現価率の計算式

$$1 \div (1 + 4.9\%)^3 = 0.8663 \quad (\text{小数第5位を四捨五入})$$

ア 3年間の有効純収益現価の合計：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の有効純収益を、複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ 4年目の有効純収益：保有期間終了後（4年目）の有効純収益である。

ウ 最終還元利回り：4年目の有効純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスク等を考慮して査定した。

エ 3年目期末復帰価格：4年目の有効純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額等を控除した価格である。

オ 複利現価率：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ 正味復帰価格現価：保有期間終了後に得られる正味復帰価格の現在価値である。

キ 収益価格：保有期間中に得られる有効純収益の現在価値と保有期間終了後の売却予測価格の現在価値の合計額で、1万円未満四捨五入の端数処理を行った。

Ⅲ 評価額の判定

1 試算価格の調整

積算価格と収益価格は開差が生じて求められた。両手法とも相応の根拠を有しているが、対象物件はファミリータイプのマンションであり、取引においては収益性よりも居住の快適性が重視される不動産であることから、本件では市場性を考慮した積算価格を標準として調整後の価格を下記のとおり求めた。

① 積算価格	38,720,000 円
② 収益価格	23,440,000 円
③ 調整後の価格	37,900,000 円

2 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額並びにその他の控除（敷金等）を考慮して評価額を決定した。

調整後の価格 (円)	市場性 修正	競売市場 修正	滞納管理費等 相当額の減価	その他の 控除(敷金 等) (円)	評価額 (円)
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
37,900,000	× 1.00	× 0.80	× 0.94		= 28,500,000

ア 調整後の価格：積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正：必要なし。

ウ 競売市場修正：「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等及び代金納付に至る間の予想滞納相当額を考慮した修正を行った。

オ その他の控除（敷金等）：必要なし。

カ 評価額：1万円未満四捨五入の端数処理を行った。

第6 参考価格資料

地価公示価格（ 豊島-20 ）

所 在：豊島区千早1丁目35番42 「千早1-28-15」

価 格：776,000 円/㎡

位 置：「要町」駅、250m（道路距離）

価 格 時 点：令和8年1月1日

地 積：103㎡

形 状 等：長方形

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 街 路：北4.2m区道

用 途 指 定 等：第一種中高層住居専用地域、建ぺい率60%、容積率200%、準防火地域

地 域 の 概 要：中小規模一般住宅が多い住宅地域

第7 附属資料

位置図

公図写

地積測量図写

建物図面・各階平面図写

以 上

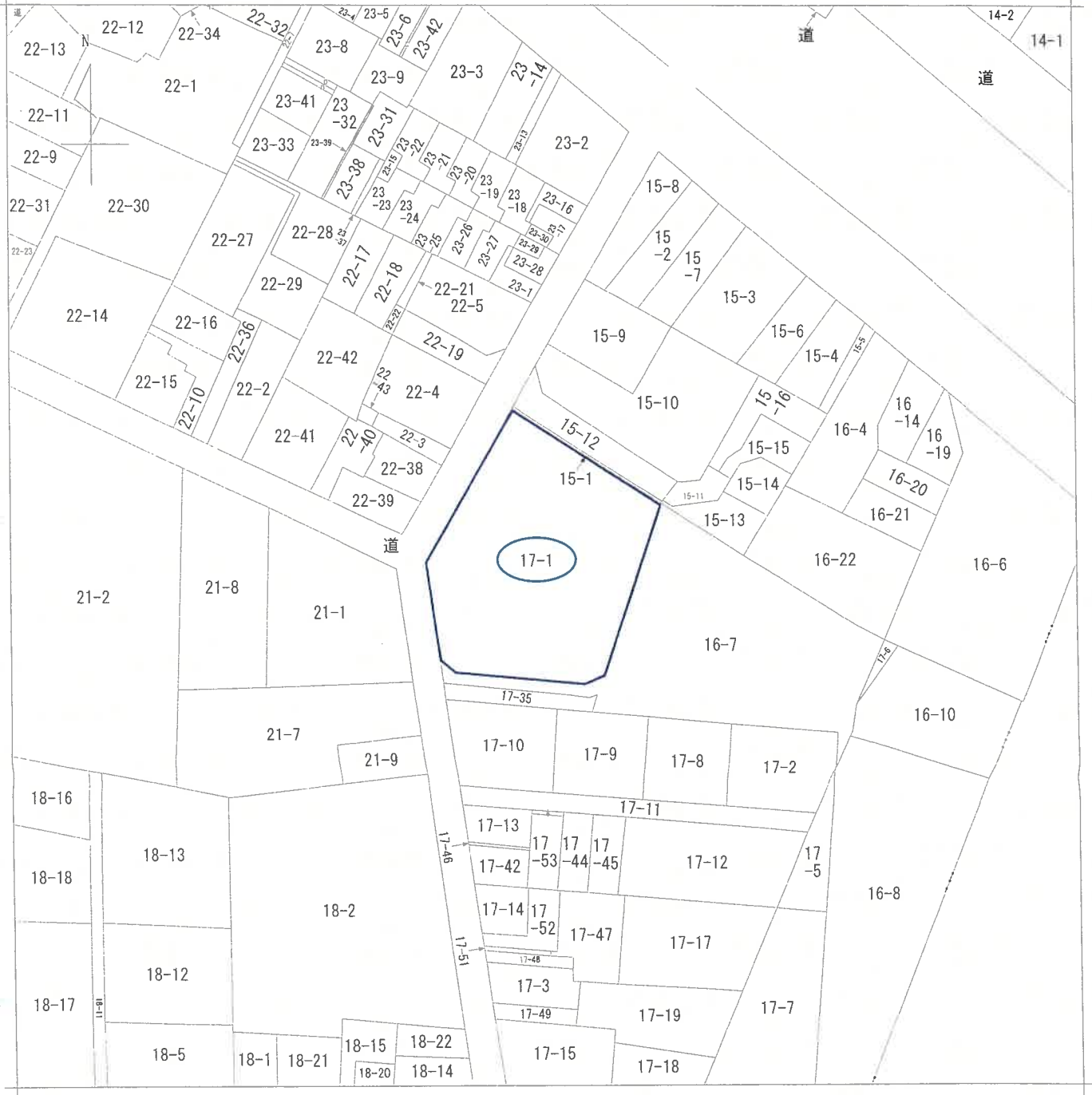
令和8年4月21日

評価人 不動産鑑定士

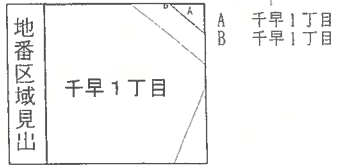
有 沢 範 芳

この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです

イ 22-34 ハ 23-35 ホ 17-43
 □ 23-34 ニ 23-7



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	豊島区千早一丁目		地番	17番1	
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面
作成年月日			備付年月日(原図)		補事項	
						種類 旧土地台帳附属地図

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年10月23日
 東京法務局豊島出張所
 登記官

登記年月日：昭和60年7月31日

地積測量図

地番	17-1
土地の所在	豊島区千早町1丁目

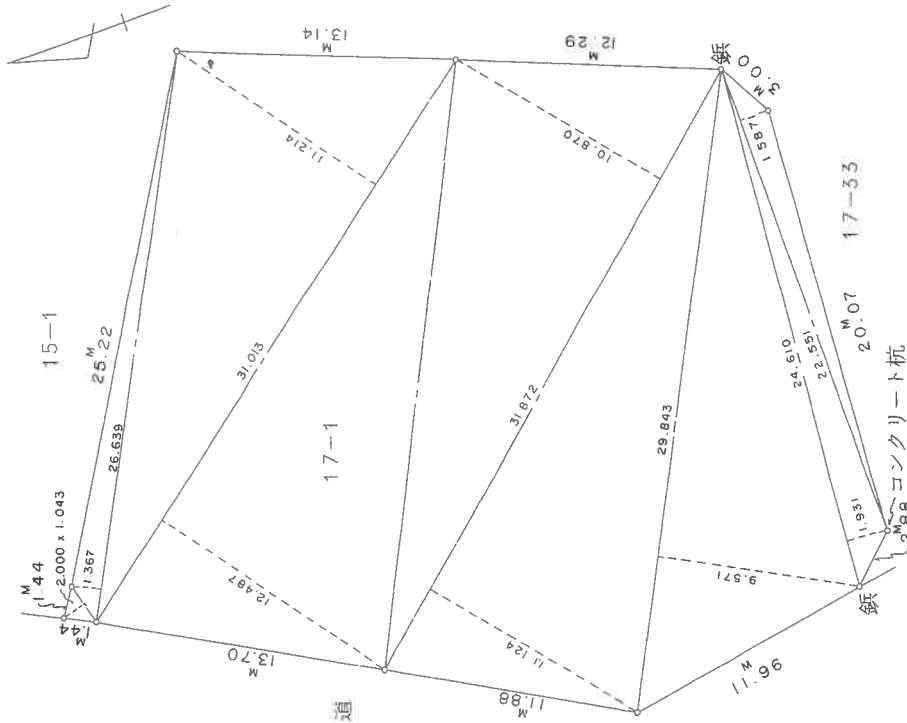
面積計算

17-1

2.000	×	1.043	=	2.086000
26.639	×	1.367	=	36.415513
31.013	×	11.214	=	347.779782
31.013	×	12.487	=	387.259331
31.872	×	10.870	=	346.448640
31.872	×	11.124	=	354.544128
29.843	×	9.571	=	285.627353
24.610	×	1.931	=	47.521910
22.551	×	1.587	=	35.788437
合計				= 1843.471094
× 1/2				= 921.735547

面積 921.73 m²

この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです



690014

製作者	申請人	縮尺	1/250

昭和60年7月25日作製

S60.57-31

(東京工務局測量調査士会専用紙)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年10月23日 東京工務局豊島出張所

登記官

